

地元報告会資料

(平成22年3月27日)



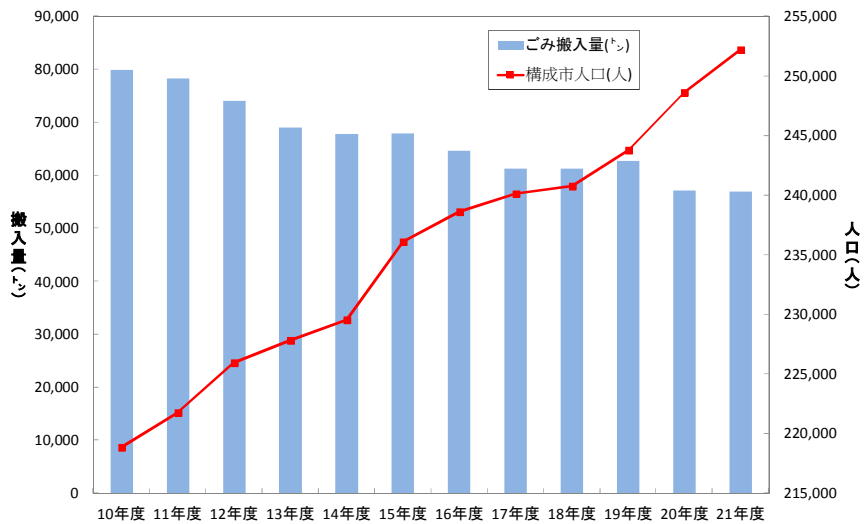
多摩ニュータウン環境組合

報告内容

- 1 平成21年度多摩清掃工場の運営について
 - ①ごみ搬入量の推移
 - ②主な活動
 - ③調布市の受入れ状況
 - ④環境測定結果
 - ⑤リサイクルセンター運営状況
 - ⑥ごみ処理対象区域の再編
- 2 平成22年度予算概要について
- 3 その他

1-① ごみ搬入量の推移

(構成市処理区域内の可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ)



1-② 主な活動



- > ISO14001取得・更新
- > たまかんニュース
 - 年2回 各86,000部発行
 - 地域版 3,300世帯ポスティング
- > 地域交流ふれあい事業の実施
 - 21年10月25日たまかんフェスタ (来場者 約1,000人)
 - 年末イルミネーション実施
- > 施設見学会の実施 (20年度)
 - 84団体 2,737人参加
- > 唐木田クリーンアップ
 - 毎月第3水曜日に工場周辺美化活動
- > リサイクルの啓発 (20年度)
 - 307日開館 26,236人来館

1-③ 調布市の受入れ状況

◇前提条件	ごみ減量化の促進（市民への周知）
◇受入期間	平成19年4月2日から平成25年3月31日まで
◇搬入量等	家庭系可燃ごみ 26,000ト/年（上限）
◇搬入ルート	尾根幹線を通行
◇搬入車両	調布市内で収集車両から運搬車両に積替える
◇搬入日	週4日（月・火・木・金）
◇21年度見込み	23,400ト
◇22年度(実質)予定	23,000ト
◇その他	安全確保の徹底

1-④ 環境測定結果（1）

(1) 環境測定情報:排出ガス調査①

年 度		平成21年度					
測定年月日		H21.5.14	H21.7.15	H21.9.29	H21.11.30	H22.1.15	H22.3.末
運転炉		2号炉	3号炉	2号炉	3号炉	2号炉	3号炉
ばいじん	濃度 (g/m ³)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	測定予定
		規制基準値=0.08g/m ³			自主規制運用値=0.02g/m ³		
硫黄酸化物	濃度 (ppm)	8	8	5	9	5	測定予定
		自主規制運用値=20ppm					
窒素酸化物	濃度 (ppm)	24	18	29	24	2	測定予定
		規制基準値=250ppm			自主規制運用値=56ppm		
塩化水素	濃度 (ppm)	7	9	7	7	8	測定予定
		規制基準値=430ppm			自主規制運用値=25ppm		

1-④ 環境測定結果 (2)

(2) 大気中のダイオキシン類調査

単位: pg-TEQ/m³

年 度	調査名等	調査地点				環境基準
		からきだの道	中板公園	小山田緑地	別所公園	
平成21年度 (稼働時)	夏季調査(1炉運転)	0.012	0.013	0.014	0.016	0.6
	冬季調査(1炉運転)	0.021	0.025	0.035	0.030	

夏季調査(1炉運転) : 平成21年7月10日～17日。
停止時調査 : 平成22年1月25日～2月1日(分析中)

冬季調査(1炉運転) : 平成22年1月5日～12日

(3) 排出ガス調査②

測定日				H21.4.28	H21.7.14	H21.10.1	H22.1.6
測定項目	測定炉	単位	排出基準				
ダイオキシン類	2号炉	ng-TEQ/m ³ N	1	0.0026	休炉中	0.00099	休炉中
	3号炉			休炉中	0.00019	休炉中	0.00034

1-⑤ リサイクルセンター運営状況

※平成21年度末の見込値

- >開館日数・来館者数
306日 24,400人(講座700人・視察等23,700人)
- >多目的室利用実績
195回(主催講座155回・関連団体15回・その他25回)
- >リサイクル品販売実績
家具・木材等 4,500個 18,600kg
自転車・部品 270点(20台・250点) 800kg
- >不用食器のリサイクル
持込者 1,000人 回収量5,900kg(5,200kg搬出・700kgリユース)
- >唐木田クリーンアップ作戦
平成21年12月25日実施 50人参加

1-⑥ ごみ処理対象区域の再編

(1)再編の基本的な考え方

多摩清掃工場は、平成5年に八王子市・町田市・多摩市により多摩ニュータウン環境組合を設立し、多摩ニュータウンの区域と多摩市全域のごみの中間処理施設として建設・運営されています。

計画を策定した当時は、大量生産、大量消費の時代であったため、ごみ量を多く推計し、日量600tの焼却能力を持つ工場を予定していました。

その後、ごみの減量施策や資源物の分別収集が進みごみ量が大幅に減少したことにより、平成9年度に計画処理能力の日量200t分の建設を凍結(中止)し、現状の日量400tの焼却能力の規模の運営となったものです。

しかし現状は、ごみの有料化やプラスチックの分別収集の開始により、ごみ量が減少するという状況はさらに進み、構成3市の収集区域のごみだけでは、最大焼却能力に比べ38%の稼働率(平成20年度)という状況になっています。

一方、三多摩地域の清掃工場は18施設あり、ここ10年で半数が耐用年数を超える状況になります。また当工場を除いた構成3市の清掃工場の一部についても老朽化が進み、現在2工場が運転停止や建替えの時期を迎えています。

このようなことから多摩ニュータウン環境組合は、平成19年度に中期経営計画を策定し、この中でごみ処理対象区域の再編を計画しました。これは、構成市間の清掃工場の建替え時等の相互協力を円滑に行うとともに、多摩清掃工場の安定稼働を確保することを目的としたものであります。中期経営計画ではそのための施策として、八王子市・町田市における多摩清掃工場のごみ処理対象区域の再編を計画し、平成20年1月発行のたまかんニュース第9号でお知らせしています。

今回は、このごみ処理対象区域の再編計画に基づき、平成22年10月頃に予定されている八王子市館清掃工場の停止に伴って、いままでも館清掃工場で焼却処理していた約3万1千tのうちの家庭系可燃ごみ1万2千t分について、多摩清掃工場へ受け入れを実施するという搬入計画を策定したものです。

(2)計画の概要、今後の予定

(計画の概要)

・搬入開始時期	平成22年10月予定
・搬入対象物	家庭系可燃ごみ
・年間搬入量	12,000 ^ト (平成22年度は 6,000 ^ト)
・搬入車両台数	1日平均34台 (最大70台)

(主な経過)

・平成19年11月1日	中期経営計画 (ビジョン2012)策定
・平成21年11月17日	環境組合第2回定例会終了後、協議会にて概要説明
・平成21年11月25日及び28日	住民説明会実施 (3回)
・平成22年1月21日～31日	意見募集
・平成22年2月1日	正副管理者会議にて概要説明 (管理者: 渡辺多摩市長、 副管理者: 黒須八王子市長及び石坂町市長)
・平成22年2月10日	環境組合定例会にて22年度予算案審議、可決

(今後の予定)

・平成22年7月	たまかんニュース等で八王子市の拡大区域のごみ受け入れ開始の告知
・平成22年10月	八王子市の拡大区域のごみ受け入れ開始

(3) ごみ処理対象区域の再編に係る地域説明会等で出された意見と環境組合の対応

* 主なご意見 (⇒⇒⇒ ご意見に関する組合の対応)

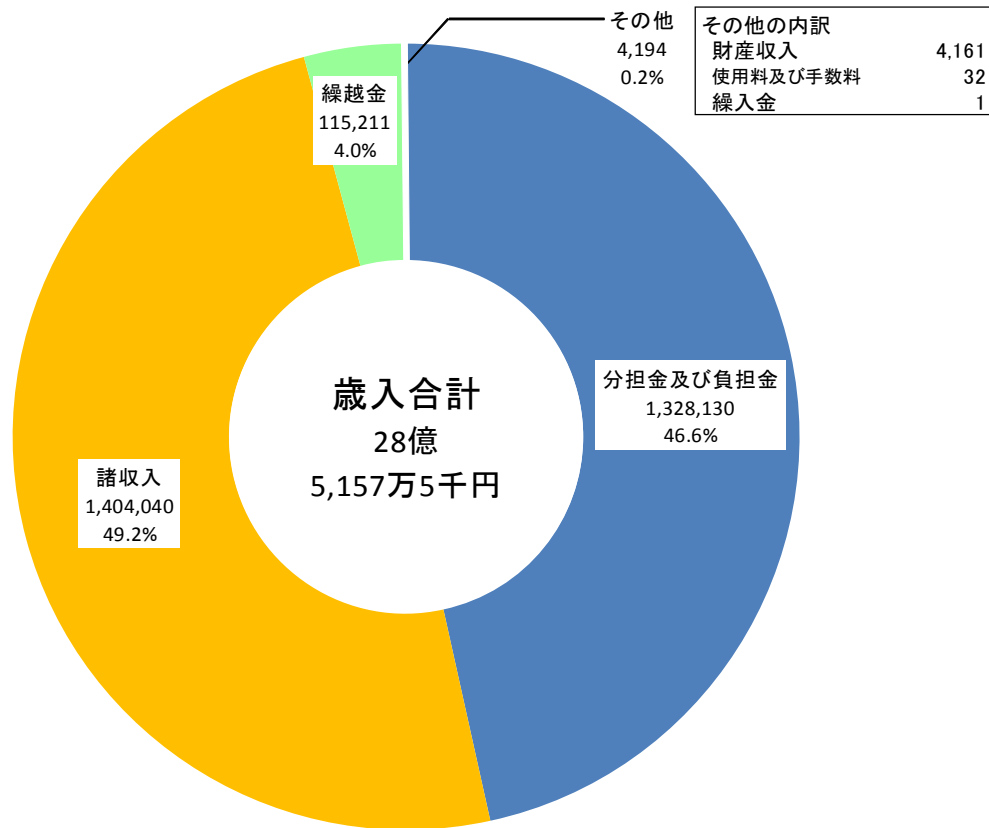
- 将来における多摩清掃工場の建て替え時には、構成市の工場にごみ処理をお願いしなければならないことを考えると、構成市における清掃工場建て替え時の「相互協力」については、概ね理解できる。
- 多摩清掃工場の「安定稼働」について、工場の経営としては、理解できるが、地元地域としては、ごみ処理量は少ないほうがいいので、工場の建て替えの際等には、その点も考慮していただきたい。
(⇒⇒⇒ 今後、多摩清掃工場の建替えの際には、当工場のごみ処理区域を含め、工場の規模の縮小について、構成市間で協議していきます。)
- 地域の環境保全に、今後とも万全を尽くしてほしい。
(⇒⇒⇒ 地域の環境保全を最重要課題ととらえ、「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」を目指し、今後とも最善の努力を尽くします。具体的には、バグフィルターのろ布の交換や環境測定の数回の増加、排ガス流通経路でのダイオキシン類の除去分解性能の把握調査を行います。)

- 今回の計画における地元への貢献として、多摩ニュータウン環境組合は、地域へのさらなる交流を進めてほしい。
(⇒⇒⇒ (仮称)唐木田コミュニティセンターの活動と連携するなど、地域活動についてできる限りの協力をしていきます。)
- 尾根幹線の早期整備について
(⇒⇒⇒ 多摩ニュータウン環境組合として、東京都へ要請をしています。また、地元多摩市としても積極的に関係機関に要請を行っております。)
- 尾根幹線道路の大妻女子大学前交差点は、八王子市側から清掃工場へ右折する車両のために、右折レーンがあるが、直進車両の交通渋滞により、車4台の右折が精一杯で渋滞に拍車をかけている。右折レーンの延長を要望する。
(⇒⇒⇒ 右折レーンの延長は、既の実施いたしました。)
- 総合福祉センター前の交差点の多摩センター方面からの左折車と直進車の安全及び、歩行者横断に係る青信号時間の延長並びに、唐木田交番前交差点の安全対策をお願いしたい。
(⇒⇒⇒ 警察や東京都など関係機関に改善の働きかけをしていきます。)

平成22年度 予算の概要

多摩ニュータウン環境組合

歳入



単位:千円

款	平成22年度		平成21年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	1,328,130	46.6%	1,563,840	51.8%	△ 235,710	△ 15.1%
2 使用料及び手数料	32	0.0%	32	0.0%	0	0.0%
3 財産収入	4,161	0.2%	930	0.0%	3,231	347.4%
4 繰入金	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
5 繰越金	115,211	4.0%	201,587	6.7%	△ 86,376	△ 42.8%
6 諸収入	1,404,040	49.2%	1,253,216	41.5%	150,824	12.0%
計	2,851,575	100.0%	3,019,606	100.0%	△ 168,031	△ 5.6%

歳入予算の主なもの — 増減の大きなもの —

○分担金及び負担金

13億2,813万円で、2億3,571万円（15.1%）の減。

構成市別負担金内訳

（単位：千円）

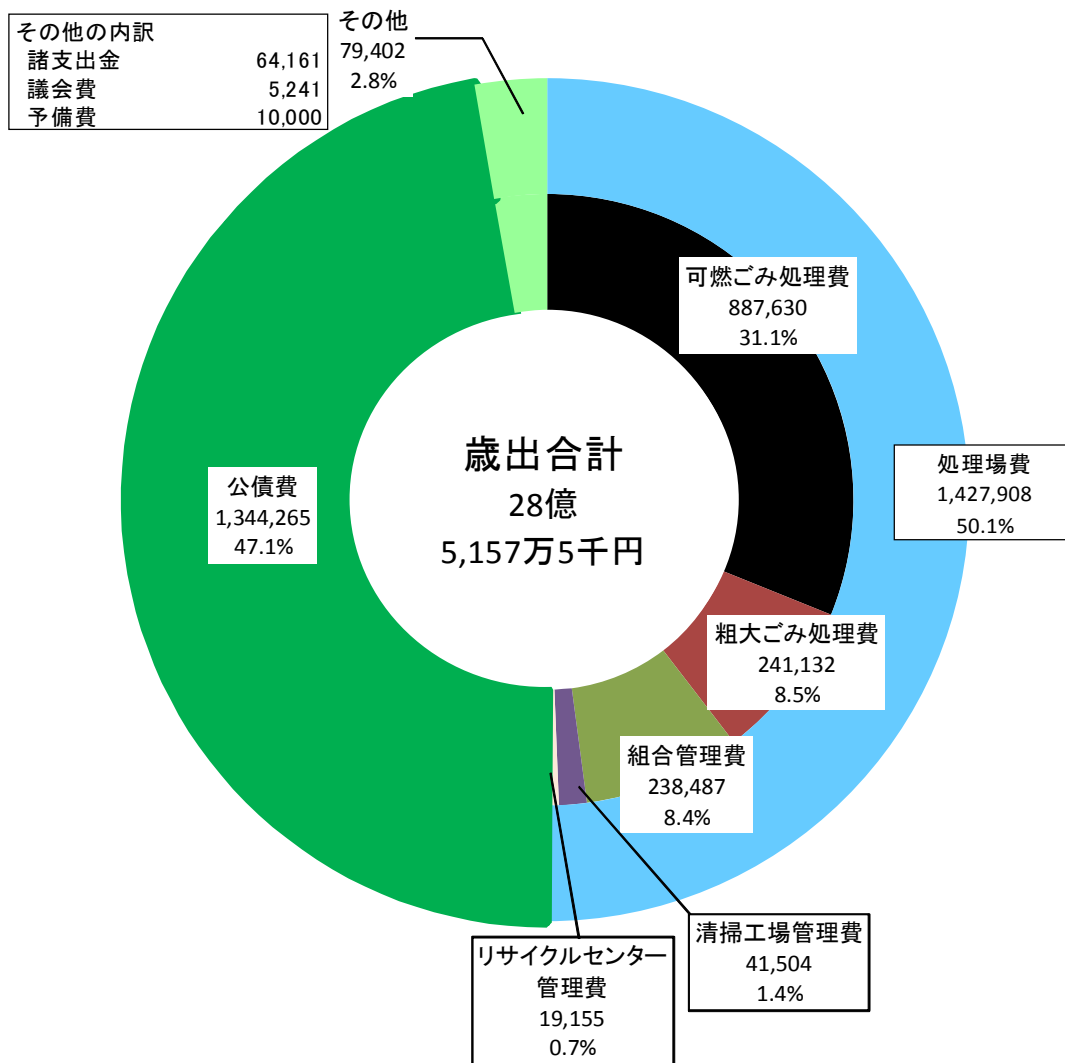
	負担金額	負担割合	前年度比
八王子市	490,475	36.9%	△103,129
町田市	52,374	4.0%	△338
多摩市	785,281	59.1%	△132,243

○諸収入

14億404万円で、1億5,082万4千円（12.0%）の増。

- ・ 拡大区域（八王子市）ごみ処理費 1億3,214万3千円（新規・皆増）
- ・ 調布市可燃ごみ処理費 11億3,532万1千円（1,216万円減）
- ・ 売電収入 1億2,000万円（1,921万円増）

歳出



単位:千円

款	平成22年度		平成21年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	5,241	0.2%	4,676	0.2%	565	12.1%
2 処理場費	1,427,908	50.1%	1,482,558	49.1%	△ 54,650	△ 3.7%
3 公債費	1,344,265	47.1%	1,471,442	48.7%	△ 127,177	△ 8.6%
4 予備費	10,000	0.4%	10,000	0.3%	0	0.0%
5 諸支出金	64,161	2.2%	50,930	1.7%	13,231	26.0%
計	2,851,575	100.0%	3,019,606	100.0%	△ 168,031	△ 5.6%

歳出予算の主なもの — 増減の大きなもの —

○処理場費

14億2,790万8千円で、5,465万円(3.7%)の減。

- ・ 機器補修工事費 3億9,749万6千円(3,450万9千円減)
- ・ 環境調査委託料 1,210万5千円(154万8千円増)

○公債費

13億4,426万5千円で、1億2,717万7千円(8.6%)の減。